

『入院セット』のレンタルが始まります！

令和4年6月1日より入院・入所生活に必要な衣類・タオル・紙おむつや日常生活用品などを日額定額制でレンタルいただけるサービスを開始します。

病院の患者さま、ご家族さまは**手ぶらに近い形**で入院・入所や面会、退院・退所ができるようになります。



病衣・タオルプラン

- 衣類
病衣・甚平・マタニティドレス
- タオル類
バスタオル、フェイスタオル
- 日用品
割りばし・ウェットティッシュ・BOXティッシュ・リンスインシャンプー・ボディソープ

タオルプラン

- タオル類
バスタオル、フェイスタオル
- 日用品
割りばし・ウェットティッシュ・BOXティッシュ・リンスインシャンプー・ボディソープ

オムツプラン

患者様の容態に合わせたプランから選択いただけます。

八重山病院ではマイナンバーカードが健康保険証として利用できます！

登録しておく、どんないいことがあるの？

- ◆ 就職・転職・引越をしても健康保険証としてずっと使える！
- ◆ 「限度額適用認定証」がなくても、情報提供に同意すると限度額を超える支払いが免除されます！
- ※ マイナンバーカードを健康保険証として利用するには申し込みが必要です。申込みはマイナポータルかセブン銀行ATMからできます。
- ※ 詳しい手続き方法等は厚生労働省HPからご確認ください。



出前講座承ります！！

沖縄県立八重山病院では、地域の皆さまと交流、健康増進のための情報をお届けする「出前講座」を実施しています。皆さまが日頃から健康について気になっていることや、専門職から直接話を聞きたいことについて、お気軽に講座をお申込みください！

実施例

- ・生徒のアレルギー疾患等について
- ・職業紹介について
- ・国境なき医師団の活動を通して
- ・新型コロナウイルス感染症について
- ・性感染症と新型コロナウイルス感染を学びライフステージを考える



出前講座に関する問い合わせ：総務課

やいまむん
沖縄県立八重山病院広報誌(令和四年5月発行)

発行 / 沖縄県立八重山病院
編集・企画 / 沖縄県立八重山病院 広報委員会

〒907-0002 沖縄県石垣市真栄里584-1
TEL:0980-87-5557(代表) FAX:0980-87-5835



やいまむん

沖縄県立八重山病院広報誌

令和4年 5月春号



- ・ お薬手帳、使ってますか？ ～お薬手帳の活用について～
- ・ 医局 時事文章
- ・ 地域連携センター ～入退院支援について～
- ・ 診療所だより
- ・ 『入院セット』のレンタルが始まります！
- ・ マイナンバーカードが健康保険証として利用できます！
- ・ 出前講座承ります！

「お薬手帳」の活用について



お薬手帳が世間に普及して、25年が経ちます。当初は薬剤相互作用による副作用被害の防止、その後は東日本大震災などの、災害時における医薬品情報把握など、緊急時での重要性が注目されてきました。日常生活では、医療機関の受診時など、普段の身近なところで役立つことも数多くあります。たとえば、

『旅行をするとき(旅行先での救急受診など)』『ドラッグストアで薬を購入するとき』『転居先で、新しい医療機関を受診するとき』『休日に診療所や救急病院を受診するとき』

こんな時にも役に立つのが『お薬手帳』です。薬の重複やよくない飲み合わせを未然に防止でき、同じ薬による副作用の再発を防止できます。

また薬の使用の記録があることで、より安全に薬を使用することができます。なかには思いがけない、よくない組み合わせ・食べ合わせが見つかることがあります(サプリメントで医薬品に影響があるものもあります)。お薬手帳があれば、あなたが飲んでいる薬を正確に伝えられます。

そのためには現在飲んでいる処方せん薬を「1冊でまとめて」記録することが大切です。病院ごとや薬局ごとに、別々のお薬手帳を作らないようにしましょう。

また、急な体調不良などにそなえ、ご家族にも、あなたがお薬手帳を持っていることを知らせておきましょう。入院時だけでなく、退院したあと通院する際も、院外薬局と情報を共有することができます。お薬手帳の活用法など、気になることは保険薬局や病院にいる薬剤師にご相談ください。



医局 時事文章

泌尿器科 山村 走平



2021年4月より1年間沖縄県立八重山病院に泌尿器科医として赴任しました山村走平と申します。泌尿器科は、医師1名の診療体制です。主に前立腺肥大症、尿路結石、腫瘍、尿失禁、神経因性膀胱、尿路感染症などの尿路に関連する様々な診療を行っております。

前立腺癌には、前立腺生検で早期発見と診断を心がけ、病期の進行や年齢、患者様個人個人に合わせて治療方法を検討し、治療を行っております。神経因性膀胱に対しては、尿流動体検査を行い、適応患者さんには自己導尿を指導しています。腹圧性尿失禁程度により体操指導、内服薬処方等を行っております。

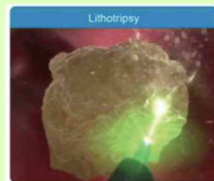
今回は、当院に2021年にレーザーによる碎石装置が導入され当院でも手術が可能となった経尿道的結石碎石術についてご説明させていただきます。

まず結石についてですが、年々かかる人が多くなってきており男性では7人に1人、女性であれば15人に1人は生涯に1度は結石が出来てしまうと言われています。一般的には、10mm以下の結石は自然に排石(おしっこと一緒に出る)され

る可能性が高いので、排石を促す薬物治療にて保存的に治療することが多いです。10mmより大きい結石の場合には、自然に排泄されることが難しく、体外衝撃波碎石術(ESWL)や経尿道的結石碎石術(TUL)が選択されます。

治療方法は、病気の状態(結石の位置、大きさ、硬さなど)や患者様の状況によって変わります。また、複数の方法を組み合わせて行われる場合もあります。経尿道的結石碎石術(TUL)は尿道から細い内視鏡を入れ、尿管または腎臓の結石を、レーザーや空気衝撃波などの碎石装置で碎石し、手術中に体外に取り出します。内視鏡は硬性内視鏡か軟性内視鏡のいずれかで、治療部位により選択されます。

今までは結石の治療が必要な方は本島の病院へご紹介をしていたため、患者様の負担が大きかったのですが、石垣でも治療が可能となり、さらに地域に寄り添った治療が可能となりました。当院では、おおよそ3泊4日の日程で行っております。



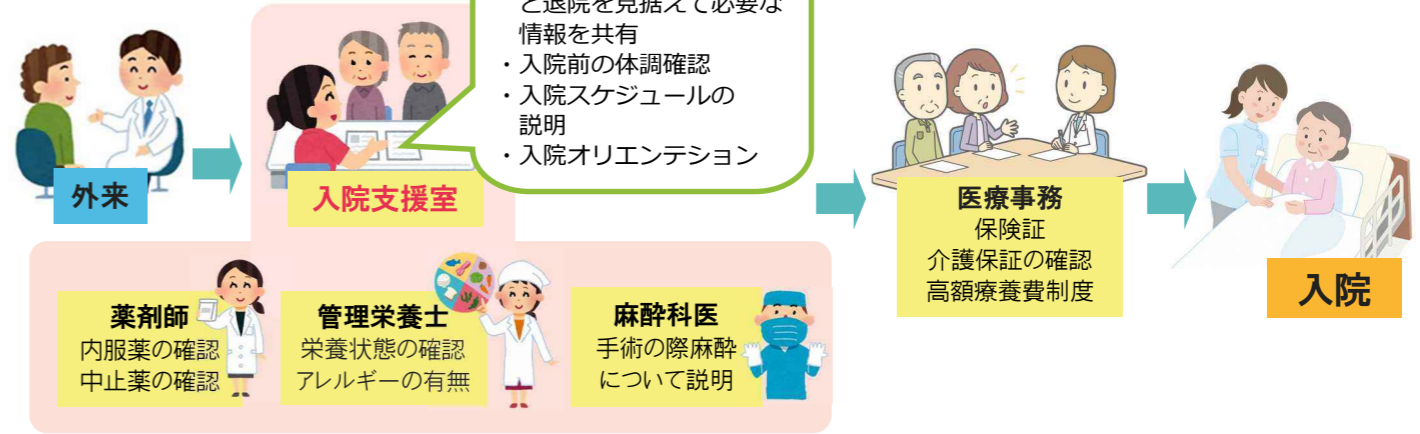
地域連携センター

住み慣れた地域や自宅で自分らしく生活したいと希望する人が、必要なサービスを受けながら、安心して生活できるよう、入院前から、入院後も切れ目ない支援を行います。

入院時支援

予定入院の方へ安心して検査や治療がスムーズに行えるように、入院前に不安なことや心配事を伺い、検査や手術などの事前スケジュールや入院生活についての説明を行います。

■入院までの流れ

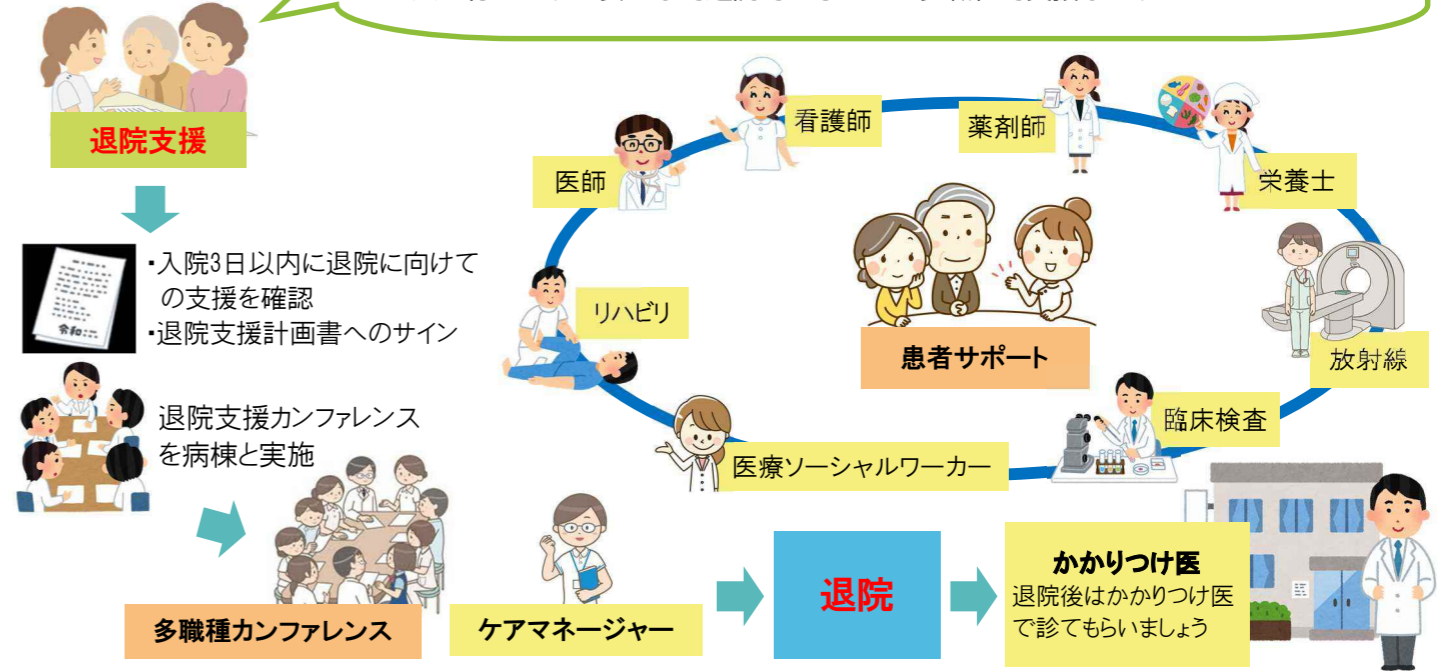


退院支援

退院調整看護師が

入院中より退院へ向けて、患者・ご家族に参加していただき、医療チームと地域のサービス提供者(ケアマネ、訪問看護師、介護職員等)と情報を共有しカンファレンスを行います。安心して退院できるように多職種で支援します。

■退院までの流れ



診療所だより

担当: 大原診療所 看護師 石黒 陽介

西表島は仲間川や由布島などがあり、多くの観光客が訪れています。世界遺産に選ばれた観光地として有名ですが、自然だけではなく住んでいる人々のあたたかさにも魅力を感じています。特に感じるのは住民同士がお互いに助け合い、支え合いながら生活していることです。例えば診療所に自力で受診できない人がいるときは、近所の方が連絡をしてくれたり、時には診療所まで連れてきてくれることがあります。このように島で生活していると地域の方々の思いやりに触れることができます。大原診療所も地域の方々の協力によって支えられて成り立っています。

